

【9L2L103】地域の歴史と文化		教養科目		1年後期		
		2単位	選択	講義	30時間	
教員	鈴木 隆雄					
資格・制限等	歯科衛生学科 選択必修					
実務家教員	小中学校教員10年・教育委員会事務局12年					
授業方法	東西文化・交通の交差点である大垣（西美濃）はさまざまな歴史の舞台となったとともに、さまざまな文化が流入し溶け込んだ。テキスト『歴史と文化の交差点 新 大垣を歩く』をもとに、他地域にみられない独特で多様な歴史と文化を、画像や実物資料を交え美感的に理解できるようにする。調査や発表に際しては教員との対話に加え学生同士の相互交流の場を位置づける。					
到達目標	知識・理解	水都を基盤に城下町・湊町・宿場町として発展した大垣は、さまざまな人や情報、物流が行き交い、歴史や文化においてわが国の東西の融合地になったことを理解する。				
	思考・判断・表現	テキストや諸資料を活用し、推測や想像ではなく史実をもとに歴史・文化事象をとらえ、判断し表現する態度を養う。				
	技能	古文書や数値を表すグラフや表などの歴史資料を読み解く技能を養成し、学修内容を正しく理解し発表する態度を養う。				
	関心・意欲・態度	座学で学修したことに興味・関心を抱き、大垣城をはじめ、自ら現地を訪れてみようとする意欲や態度を養う。				
授業内容	本学が立地する大垣市（西美濃）は、多様で独特な歴史と文化があり、これを形成したのは「水の都」と呼ばれるような豊富な水の存在を基盤に、城下町・湊町・宿場町の3つの機能を有していたのが背景にあることを美感的に理解する。併せて豊かな食文化や多くの博士や実業家を輩出したことを知ることで、この地域に愛着と誇りを持てるようにする。さらに自分の故郷（出身地）を再評価する機会とする。					
観点別評価	評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	レポート	15	25	-	10	50
	受講態度	5	5	-	5	15
	発表（グループ発表含む）	10	10	10	5	35
	合計(点)	30	40	10	20	100
評価の特記事項	各時間ごとのレポート提出により、学修の定着を見極め、発表は意欲・態度とともに内容を重視する。					
ICT活用						
アクティブ・ラーニングの活用	地域の歴史や文化を各自が図書館や現地で調べて発表する機会を毎時間位置づける。					
課題に対するフィードバック	学修内容をレポートにまとめる時間を位置づけ、教員のコメントを添えたり全員にフィードバックしたりして、より理解を深めるようにする。					
テキスト	『歴史と文化の交差点 新 大垣を歩く』鈴木隆雄 大垣市文化財保護協会(1,020円)					
参考書・教材	学修内容に応じて、該当する参考書や教材をその都度紹介する。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	大垣市（西美濃）の自然と地理的環境を理解する。（課題：復習）これらが今後の学修の礎となることをまとめる。（4h）					
2	古来より豊富な水に恵まれた「水都」大垣について理解する。（課題：復習）人々の生活には水の要素が不可欠であることをまとめる。（4h）					
3	城下町として発展した大垣を理解する。（課題：復習）城下町の文化が大垣のまちづくりと風土形成に大きく寄与したことをまとめる。（4h）					
4	湊町として発展した大垣を理解する。（課題：復習）水運の集積地となった湊町の存在が大垣のまちづくりと風土形成に大きく寄与したことをまとめる。（4h）					
5	宿場町として発展した大垣を理解する。（課題：復習）宿場町として人や物、情報が盛んに行き交い、大垣の発展に大きく寄与したことをまとめる。（4h）					
6	特色ある大垣の町屋の設えを理解する。（課題：復習）伊吹嵐などの風雪に耐え、まちを活性化した町屋の設えについてまとめる。（4h）					
7	大垣八幡神宮をはじめ大垣の神仏を理解する。（課題：復習）科学が進歩していない時代の、人々の神仏への祈りについてまとめる（4h）					
8	大垣の医学者と歯痛などに対する伝統的な民間療法・民間信仰を理解する。（課題：復習）蘭学者江馬蘭齋を核として、大垣は西日本における医学発展の拠点となったことをまとめる。（4h）					
9	大垣の水や地理的環境から生まれた特産物について知る。立地や交通の便を利用して、全国へ広がっていった大垣の特産物についてまとめる。（課題：復習）（4h）					
10	大垣市スイトピアセンターの諸施設や憩いの場を知る。（課題：復習）市民の生涯学習の拠点であるスイトピアセンターの施設やその利用についてまとめる。（4h）					
11	「水都」大垣に架かる橋の歴史や名を理解する。（課題：復習）網の目状に広がる市内河川に架かるさまざまな橋の名や由緒についてまとめる。（4h）					
12	歴史小説『坂の上の雲』と大垣の関連を理解する。（課題：復習）大垣は博士のまちであるとともに、軍人のまちでもあったことを司馬遼太郎の小説に登場する人物をもとにまとめる。（4h）					
13	大垣に現存する貴重な近現代遺産を知る。（課題：復習）濃尾震災や大水害、米軍空襲を乗り越えた近代歴史遺産をまとめる。（4h）					
14	わが国を代表する児童文学者の宮沢賢治および新美南吉と大垣とのかわりを理解する。（課題：復習）著名な文学者の活躍の裏に、大垣の人物との深い交流があったことをまとめる。（4h）					
15	地域の歴史と文化の特色をまとめ、さらに自分の故郷との比較により、双方のまちの良さを実感する。（課題：復習）大垣の歴史と文化の特色をまとめる。（4h）					
時間外での学修	学修内容をいっそう深めるため大学図書館や市内の公共図書館、歴史展示施設等で自ら調べたり、現地を訪れたりする姿勢や態度を養成する。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60H】					
受講学生へのメッセージ	地域の歴史と文化の学修を通して、地域を好きになるにとどまらず、愛着と誇りをもってほしい。 オフィスアワー：金曜日12時10分～12時40分（授業後の講義室）					